

平成 21 年 1 月 30 日

各 位

会社名 双 日 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 加瀬 豊
 (コード番号 2768 東証第 1 部/大証第 1 部)
 問合せ先 広報部長 稲田 隆
 電話番号 03 - 5520 - 3404

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 10 月 29 日に公表した業績予想および平成 20 年 4 月 30 日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 修正の内容

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,800,000	90,000	95,000	60,000	48.62
今回発表予想 (B)	5,370,000	60,000	40,000	20,000	16.20
増 減 額 (B - A)	△430,000	△30,000	△55,000	△40,000	—
増 減 率 (%)	△7.4	△33.3	△57.9	△66.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	5,771,028	92,363	101,480	62,693	51.98

平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,400,000	7,000	43,000	37,000	29.97
今回発表予想 (B)	3,310,000	△13,000	20,000	21,000	17.01
増 減 額 (B - A)	△90,000	△20,000	△23,000	△16,000	—
増 減 率 (%)	△2.6	—	△53.5	△43.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	3,480,490	16,224	33,980	31,523	26.13

(2) 修正の理由

(通期の連結業績予想及び個別業績予想)

米国に端を発した金融危機が世界規模での景気後退を招き、市況商品の価格及び株式相場の下落、為替相場における円高の進行等、事業環境の急激な悪化が進んでおります。

機械・宇宙航空セグメントでは、これまで好調に推移しておりました自動車事業において、世界的な自動車需要の急速な悪化を受け、販売計画を見直したことに加えて、新興国、特にロシア・NIS 地域での現地通貨急落による影響を見込んでおります。

エネルギー・金属資源セグメントでは、急激な市況価格の下落、及び景気後退に伴う全般的な需要減による影響を見込んでおります。

化学品・合成樹脂セグメントでは、アジアで展開する肥料事業において、穀物価格の急落が生産高の減少を招き、急激に肥料需要が減退したことで、在庫調整に伴う収益減少の影響を見込んでおります。

建設・木材セグメントでは、不動産事業において、市場低迷の影響を受け、既に第2四半期においてマンション事業での採算性の悪化、販売用不動産の価格の下落を織り込んでおりましたが、現在でも市況の底打ち感が見られず、更なる市況悪化の影響を見込んでおります。

各セグメントにおける影響に加えて、株式市場の急落による有価証券の減損も発生し、見通しに影響を及ぼしております。

これらの事業環境の悪化の影響を踏まえて、第4四半期でのグループ全体の通期の見直しを行った結果、平成21年3月期通期の連結および個別業績予想は、前回公表した予想を下回る見込みとなりました。

当社グループは、顧客ニーズに重点を置いたビジネス展開や顧客満足度・顧客信頼度の更なる向上を図るとともに、従前より進めております低採算事業の撤退を徹底し、リスクアセットの視点でのマネージメントを強化してまいり、資産の入れ替えも断行し、質の向上をしてまいる所存であります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

① 普通株式

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成20年4月30日)	—	4.50	—	4.50	9.00
今回修正予想	—	—	—	(未定)	(未定)
当期実績	—	4.50	—	—	—
前期実績 (平成20年3月期)	—	3.50	—	4.50	8.00

②第一回Ⅲ種優先株式

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成20年4月30日)	—	7.50	—	7.50	15.00
今回修正予想	—	—	—	(未定)	(未定)
当期実績	—	7.50	—	—	—
前期実績 (平成20年3月期)	—	7.50	—	7.50	15.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆さまに対して安定的かつ継続的に配当を行うと共に、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させることを経営の最重要課題のひとつと位置付けております。

しかしながら、当期末の配当金につきましては、経営環境の先行きが不透明であることにより、当期の通期実績を勘案した上で、ご提案させていただきたいと考えており、現時点では未定であります。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。従い、実際の業績は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動などさまざまな重要な要素により、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

以 上